

Nabtesco

第17期 通期 | 2019.1.1~2019.12.31

ナブテスコ通信



アンケートにご協力ください。

抽選で**300名**に当社ノベルティをプレゼント

今後のIR・SR活動の充実のため、株主の皆さまにアンケートをお願いいたします。ご回答くださいました方の中から抽選で**300名様**に当社オリジナルノベルティ(付箋)をプレゼントいたします。締め切りは**2020年5月8日**(ハガキの場合は必着)です。
※発送は、7月上旬以降を予定しております。



ハガキかアンケートサイトからご回答いただけます。



<https://smartweb1.eventissimo.jp/>

ナブテスコ 株式会社

証券コード:6268

事業環境の変化に迅速に対応し、利益ある成長を追求し続けます。



代表取締役社長 寺本克弘

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下に2019年度の当社の概況と今後の見通しをお伝えし、ESG経営の推進状況をご説明させていただきます。

米中貿易摩擦等の影響を受け、精密減速機の需要減少が続き、期初の計画を下回りました。

2019年度は当初、精密減速機の需要回復を見込み、売上高3,000億円の実現による増収・増益を想定していましたが、下期に入りその需要が落ち込み、結果として期初の計画を下回る業績となりました。

営業状況をセグメントごとに振り返ると、コンポーネントソリューション事業は、精密減速機が、米中貿易摩擦等による影響の長期化を受け、需要減少が2017年末から続いたことから、受注高・売上高が前期を下回り、営業利益も減益になりました。油圧機器は、中国市場で現地建機メーカーの需要が高く、堅調に推移しましたが、東南アジア市場が伸び悩んだことから、利益を確保しながらも前期並みの売上高にとどまりました。

トランスポートソリューション事業は、受注高が若干

減少したものの増収を確保し、利益回復を遂げました。鉄道車両用機器は中国地下鉄向けが、商用車用機器は国内市場向けが、堅調に推移しました。航空機器は、民間航空機向けで売上高が増加しました。ドイツの連結子会社OVALO GmbH(以下、OVALO社)では、IFRSの新リース会計基準適用により、のれんの減損損失13億円弱を計上せざるを得ませんでした。一方、製品化を進めてきた自動車用アクチュエーターがAudi社の新モデルに採用され、生産ラインが本格的に稼働を開始しました。

アクセシビリティソリューション事業は、好調な国内外での需要により、受注高・売上高の拡大とともに大幅な増益を果たしました。国内外で建物用自動ドアおよびプラットホームドアの需要が伸び、増収したことに加え、負担になっていたM&A後の事業統合関連コスト

も減少し、利益が大きく改善しました。

なお、当社グループは、米中貿易摩擦等による影響が当面続くことを想定し、津工場(三重県)で進めていた精密減速機の生産増強投資を一旦停止しましたが、今後、精密減速機の需要回復が見込まれた場合には、生産ラインの設置によって迅速に需要の急増に対応できるよう準備しています。

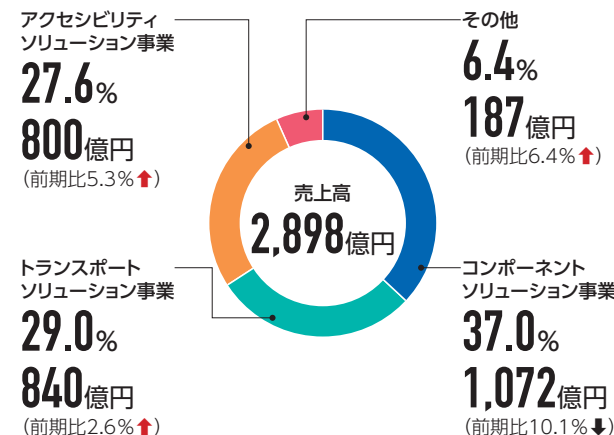
ガバナンス・社会・環境の各マテリアリティを特定し、事業を通じてESG課題の解決に注力しています。

現在推進中の4か年中期経営計画(2017年度～2020年度)では、コミットメントの一つに「ESG課題の解決に注力」を掲げています。

当社グループは、従来から事業活動におけるESG課題への対応を進めてきており、中期経営計画のコミットメントは、その延長線上にある取り組みを一層強化することを宣言したものです。当社が社会に求められる企業として持続的に成長し、企業価値を高めていくためには、経営における透明性の担保はもちろん、事業活動を通じて積極的に社会課題の解決を図る姿勢が求められます。それは、企業がすべてのステークホルダーとともに発展し、永続していくための条件と、私達は考えています。

そうした考えのもと当社グループでは、ガバナンス・社会・環境の各領域におけるマテリアリティ(重要なCSR課題)を特定し、取り組みを進めています。

セグメント別情報(2019年度)





ガバナンス領域では、「コーポレートガバナンスの強化」「リスク管理とコンプライアンスの徹底」「ステークホルダーとの積極的な対話」を掲げ、実効性のある施策を遂行いたしました。2020年度は、取締役会における社外取締役比率の上昇および女性取締役の増員を図り、より多様な視点から経営を監督・提言するコーポレートガバナンス体制を構築しています。リスク管理・コンプライアンス面では、研修活動をこれまで以上に海外子会社にも展開していく予定です。

社会領域では、「働きやすい職場の確保」を掲げています。2017年に立ち上げた業務改革推進室が中心となり、日々の業務内容の棚卸しや分析を実施したうえで、RPAツールなどを活用した効率化やテレワークの導入を図ってきました。その効果は、有給取得率の上昇や残業時間の減少など、目に見える形で表れています。2020

年度はオフィス変革も含め、さらに推進してまいります。そして環境領域では「気候変動問題への対応」「環境に配慮したものづくり」を掲げています。2017年にCO₂排出量の長期削減目標を制定し、工場における太陽光発電システムの設置など環境設備投資を継続的に実施しています。2019年度はTCFD*への賛同を表明し、またフロン排出抑制法への対応を加速させました。2020年度は、再生エネルギーを活用した工場のスマート化を進めていく考えです。

こうしたESG課題の解決への取り組みは、「DJSI」「FTSE」などの外部のESG評価機関から高い評価をいただいています。

*TCFD…気候変動関連財務情報開示タスクフォースの略



精密減速機の回復を見込み、増収・増益を予想。

中期経営計画は、この3年間でESG課題の解決を着実に進展させ、三つの経営テーマ[Market Creation][Technology Innovation][Operational Excellence]にもとづく取り組みもそれぞれ成果を上げてきました。なお、中期経営計画のコミットメントの一つである「ROE15%達成」につきましては、大変厳しい状況ではありますが、引き続き事業活動による早期達成を目指してまいります。

2020年度は、コンポーネントソリューション事業では、精密減速機について、前期末における受注残の状況に加えて、設備投資が再開される状況も勘案し、需要の回復を予想しています。加えて油圧機器についても東南アジアでの需要回復が期待できる状況です。また、トランスポートソリューション事業では、鉄道車両用機器の海外案件増加、OVALO社は減損影響の解消に加え

当社グループ決算情報

	2018年度	2019年度	2020年度 (計画)
売上高	2,946億円	2,898億円	3,030億円
営業利益	219億円	253億円	320億円
親会社の所有者に 帰属する当期利益	210億円	179億円	231億円
年間配当額	73円	73円	82円
ROE*	12.1%	9.8%	12.0%

*ROE…親会社所有者帰属持分当期利益率の略

業績改善を見込んでいます。

以上を前提に2020年度の業績は、売上高3,030億円(当期比4.6%増)、営業利益320億円(同26.4%増)、税引前利益340億円(同21.5%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益231億円(同28.8%増)を予想しています。

なお、新型コロナウイルスによる影響については、今後の状況を注視し、迅速な対応に努めてまいります。

コミットメントに対する経営陣の想いを込めて 2020年度の配当は9円増配を予定しています。

2019年度の期末配当は、予定通り1株当たり37円(年間配当額同73円)とさせていただきます。中期経営計画では「連結配当性向35%以上」をコミットメントに掲げており、この水準を大きく超える50.5%の配当性向となりますが、株主の皆さまへの利益還元を安定的に拡充していく方針を優先いたしました。

2020年度は、年間配当額同82円(中間同41円・期末同41円)と増配を予定しています。これは、今期業績において「ROE15%」を達成した場合の利益額をもとに「連結配当性向35%」に相当する配当として算出したものです。株主の皆さまには、コミットメントに対する経営陣の想いとしてご理解いただければ幸いに存じます。

当社グループは、事業環境の変化に迅速に対応し、利益ある成長を追求し、株主の皆さまにとって魅力ある企業を目指してまいります。これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

介助者の負担を軽減し、外出をサポート！

介助用電動車いす
アシストホイール



アシストホイール

社会課題

バリアフリー
超高齢社会

超高齢社会を迎えている今日では、移動をサポートする機器の進歩が求められています。当社は産業用機器の分野で磨いてきた高度な技術を応用し、安全で快適な移動をお手伝いする機器を開発しています。

福祉分野の当社製品のひとつである介助用電動車いす「アシストホイール」は、上り坂や下り坂、不整地等、通常の車いすでは通行が困難な場所で、センサーにより自動的にモーターやブレーキが働き、介助者の負担を軽減するために開発されました。

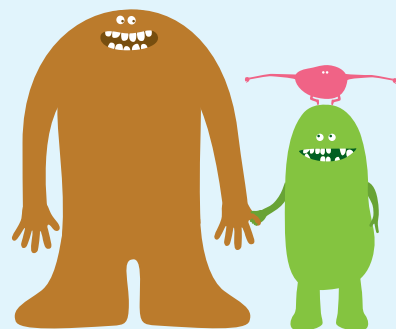
この世界初の介助用アシスト技術が、介助者の負担を和らげ、車いすでの快適な行動を支えています。

当社は、製品を通じた地域コミュニティとの交流と社員の社会課題解決に対する変革意識の醸成を目的として、2008年から毎年「アシストホイール」の寄贈を続けており、2019年は初めて公益財団法人東京都公園協会へ15台を寄付いたしました。同協会の管理する日比谷公園や葛西臨海公園などに配置されています。

バリアフリー社会実現への一助として、「アシストホイール」が、公園・庭園をはじめとするさまざまな施設でお役に立てるよう、今後も活動を続けていきます。

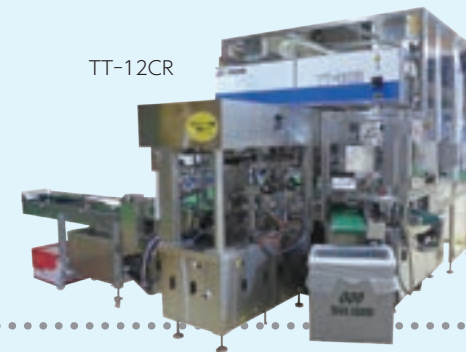


介助者の負担を軽減する電動アシスト型の車いすです。



地球にやさしい、便利な製品づくりをサポート！

小容量から大容量充填切り替えに対応可能
自動充填包装機



TT-12CR

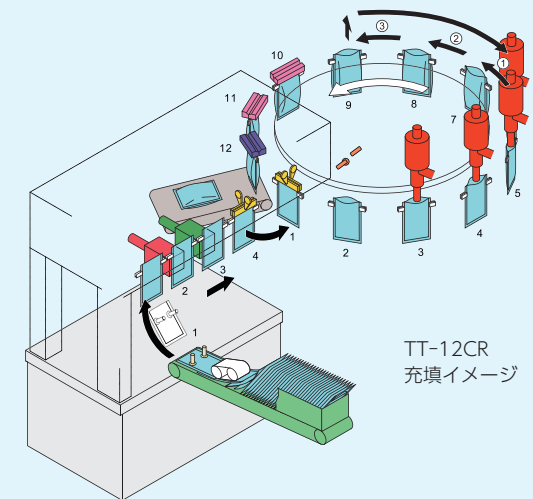
社会課題

プラスチック廃棄物
食品ロス

当社グループの東洋自動機株式会社では、レトルト製品や詰替用製品用のパウチに内容物を充填する自動充填包装機を展開しています。現在、さまざまな食品や洗剤・化学薬品などは、レトルト製品や詰替用製品として国内だけでなく海外の生活にも深く浸透しており、同社の自動充填包装機は高い密閉性で賞味期限延長を実現するなど、プラスチック廃棄物や食品ロスの削減に貢献しています。

東洋自動機株式会社では液体向け自動充填包装機において、小容量から大容量まで幅広く充填することができ、かつ省スペースや高速充填のニーズに応えるべく自動充填包装機「TT-12CR」を新規開発しました。作業工程を省スペースのまま3工程増加させることができる直線型袋搬送装置と、液充填ノズルを移動する袋に追従させることで液充填の必要時間を確保し充填時の泡立ちをなくせることで、高い汎用性と省スペース、生産性向上を実現し、日本包装機械工業会が主催する「JAPAN PACK AWARDS 2019」で優秀賞を受賞しました。

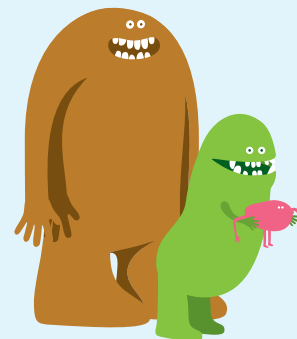
このように、さまざまな包装機をグローバルに展開することで、国内はもとより海外においても日常生活に関する社会課題の解決に貢献しています。



TT-12CR
充填イメージ



JAPAN PACK AWARDS 2019
優秀賞 賞状



TOPIC① 2019年9月 「NATRUS⁺e」が第13回キッズデザイン賞を受賞

当社の自動ドア製品「NATRUS⁺e」が、キッズデザイン協議会主催の第13回キッズデザイン賞において、「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」を受賞しました。当社の同賞受賞は、2018年の「NATRUS」に続き2年連続となります。

ドア付近での立ち止まりや横切りと、ドア方向への進行との、動線の違いを判断することで、不要な開閉による空調効率の悪化防止を実現しつつ、手を伸ばしてのタッチ操作を不要としました。すでに空港や医療施設などで採用されており、ベビーカーや車いす使用時にもスムーズな移動を提供するという面において、社会的有用性が高い、との評価をいただいています。



通りたい人だけ開きムダ開き減少



タッチ操作不要でバリアフリー実現

TOPIC② 2019年12月 当社グループの主要事業拠点9拠点全てがレジリエンス認証取得

当社の5つの事業拠点が、2019年度 第2回認証審査において、「国土強靱化貢献団体認証 (レジリエンス認証)」を取得しました。

既に2018年度に1拠点、2019年度 第1回に3拠点が取得しており、今回の審査をもって主要事業拠点である9拠点の全てでレジリエンス認証を取得することができました。

今後も、グループでの事業継続のみならず、サプライヤーと共にサプライチェーンの視点でBCPIに取り組み、災害や危機に強い企業グループを目指してまいります。

- 今回認証を取得した事業拠点
- 既に認証を取得していた事業拠点



ウェブサイトのご案内
<https://www.nabtesco.com>

当社Webサイトでは、当社に関する
さまざまな情報を発信しています。

ナブテスコ

検索



Youtube公式チャンネルのご案内
NabtescoPromotion

TVCMや会社案内などを映像でも
ご覧いただけます。

[https://www.youtube.com/user/
NabtescoPromotion](https://www.youtube.com/user/NabtescoPromotion)



ナブテスコ株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号
TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

UD
FONT

